

Nicaragua ValleDantari JAVANICA

JAVANICA

希少なジャバニカ種の甘くスパイシーな味わい

バジェ・ダンタリ農園は、ニカラグア北中部のヒノテカ県にある、サンタ・マウラ農園内位置し、セロ・ダンタリ自然保護区にある谷や溪流は濃厚な霧に包まれ、ここではニカラグアが誇る多種多様な植生物を鑑賞することができます。世界に二つとないこの自然の楽園は、学生や科学者、国内及び海外の来訪者たちにとっても喜ばれています。

研究によると、この自然保護区では79種類以上の木、約250種類以上の蘭が確認されています。熱帯雨林に囲まれ、豊富な栄養を含む火山灰が多い水はけのよい土壌です。年間8カ月間程の雨期、これらの植生物は18～23度と気候も安定した海拔1,050～1,650メートルに生息しています。これらの蘭と同じくコーヒー栽培に適している場所なのです。農園は100年以上の歴史を持ち、ニカラグアでも最初の頃にできた農園で、ニカラグア国内の他の地域同様に、この農園でもコーヒーはシェードツリーの下で栽培され、柑橘類やバナナ、カカオといった植物と一緒に栽培されている為、コーヒーに特徴的なアロマや風味を与えてくれ、農園では40ヘクタール以上に大事なスペシャルティコーヒーを栽培しています。ジャバニカ種はジャワ島からニカラグアに持ち込まれ、研究所で地域に合わせに品種です。味覚特徴はコクがあり、甘く、それでいてスパイシーという独特の味を持ち、ジャバニカ種はデリケートな品種のため、生産している地域は世界でも希少となりましたが、ニカラグアコーヒー屈指の生産圏で現在でも少量生産され、愛飲家から大変愛されています。ジャバニカ種は、インドネシアのジャワ島から来た豆ですが、ここ(ヒノテガ)がジャワ島の山と環境が似ているため、ニカラグアで最も多種多様な生物が生息しており、5848ヘクタールの民間保護区を擁しているここバジェ・ダンタリでは非常に高品質で世界でも名高いコーヒーが生産できます。保護区内には約38世帯が住みながらも、非常に大切な自然保護区バジェ・ダンタリを保全し、この自然の楽園を大事にする300世帯を超える住人の支えになっているのです。このコーヒーは伝統的なナチュラル精製と100%天日乾燥で仕上げられ、強い柑橘系のフルーツや又時にはナッツのような香り、新鮮なレモンのような特徴を持つコーヒーです。

[地域] ニカラグア北中部 ヒノテカ県 サンタ・マウラ農園内

[土壌] 肥沃な火山性土壌

[標高] 1050～1650m

[面積] 40ha

[カップ評価]柑橘系、レモン、ナッツ

